

「SICONEX®」 超高压275kV CVケーブル用 スマート終端接続部のラインナップ化

昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:神奈川県川崎市、取締役社長:田中幹男)は、ケーブル接続工事において大幅な工期短縮、省力化が可能となる275kV CVケーブル用スマート終端接続部を開発しました。既に66-154kVクラスのスマート終端接続部は製品化しておりますが、今回新たに超高压275kVクラスのラインナップを追加しました。

再生可能エネルギー電源の電力系統への接続や老朽化した変電設備のリプレイスなど、電力変電所の更新、増設工事が増加しており、ケーブル接続工事には、工期短縮、工事の省力化、簡素化が強く望まれています。今回ラインナップ化した275kV CVケーブル用スマート終端接続部は、これまでのSICONEXのコンセプトと同様、プラグイン構造を適用することで、機器の絶縁媒体である油やガス等の現地処理を不要とし、大幅な工期短縮、工事の省力化、簡素化を実現しています。接続作業時の異物混入防止を目的とするクリーンブースの縮小化など、275kV変電所において工期が長期化するケーブル接続工期の短縮に対して大きな効果を発揮します。

<超高压275kV CVケーブル用スマート終端接続部の特長>

- ① 275kV クラスでは国内初のプラグイン構造を適用することで、現地での機器ケース開放作業が不要となり、現地施工期間の30%以上短縮を実現
- ② 従来型終端接続部と比較して、約50%軽量化、約40%小型化
- ③ 各部品を工場にてユニット化(一体化)することにより部品数の大幅な低減を実現
- ④ 機器ケースの開放が不要となるため、異物混入のリスクを低減し信頼性が向上
- ⑤ 接続プラグは脱着が可能となっており、緊急時におけるケーブル引き抜きにも容易に対応可能
- ⑥ 現地での作業区分が機器メーカーとケーブルメーカーで明確に分かれているため、双方間の工期調整が不要で、工事を独立管理可能

昭和電線ケーブルシステム株式会社は、今後も自社ブランド『SICONEX』の開発を継続し、変電所工事の工期削減、省力化などに寄与する付加価値の高い製品を提供していきます。

グローバルブランド戦略

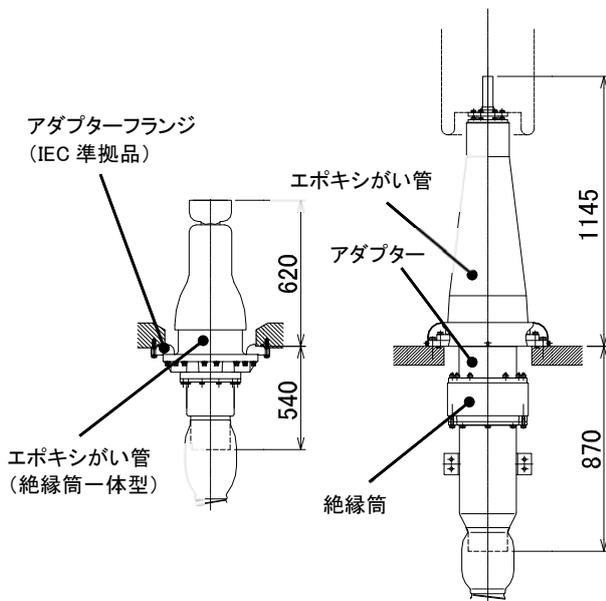
SICONEXブランドの浸透をはかり、世界拡販を目指します。

ブランドネームの意味

SICONEXは「Smart Intelligence Connector」からの造語で、洗練された知能・英知の電力機器製品を意味しています。

発音は「サイコネックス」

SICONEXは「サイコネックス」と発音します。



項目	275kV スマート終端接続部	275kV 従来品型終端接続部
最大質量	約 120kg	約 250kg
全長	1160mm	2015mm
施工	本体材料 機器メーカー工場組立	現地施工
	接続材料 現地施工 (プラグイン接続)	

図：従来品との構造比較

以上

■照会先

昭和電線ケーブルシステム株式会社 電機・情報システム営業部 TEL 044-223-0535

昭和電線ケーブルシステム株式会社 電力営業部 TEL 044-223-0534

■報道機関お問い合わせ先

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略本部 経営企画部 TEL 044-223-0520